

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年 3月 日

事業所名 いわき生野学園 キャプテンフック

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			令和5年度には、建物横にも小規模の活動スペースが出来る予定です。
	2	職員の配置数は適切である	○		臨床心理士や強度行動障がい等の資格取得を職員全体で行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内は全面バリアフリー化を行っています。また、玄関前の階段については簡易スロープを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			引き続き目標設定と振り返りについて努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	内部評価に努めています。	必要に応じて、今後、検討していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部、内部問わず職員全体の研修機会を確保しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		変更があった際には適時修正、追記等行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			保護者からの依頼等あれば、検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間での話し合いを日々行い、利用者に楽しんでもらえる活動を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化を行った方が安心できる利用者も居ますので、状況に応じて変更等行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、ミーティングを行い、送迎や活動内容について確認しています。	職員全員が参加出来ない場合もあるため、引継ぎノートを作成、活用しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		サービス提供後、毎日振り返りを行い、気付きや課題等の情報共有を行っています。	職員全員が参加出来ない場合もあるため、引継ぎノートを作成、活用しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、ケース担当だけでなく、現場職員等含め、柔軟に対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在は利用されている方はいませんが、今後、必要に応じて整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		情報共有が必要な場合は必ず保護者に確認を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	同法人内の児童発達支援センターとけいワニと意見交換を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍のため、現在は行っていませんが今後、検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	月に一度は子ども支援連絡会に参加しています。	機会があれば、積極的な参加を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	面談、電話、タブレット端末を活用して情報共有を行っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		コロナ禍のため、現在は行っていませんが今後、検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に限らず分かりやすい丁寧な説明に努めています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	面談、電話、タブレット端末を活用しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	地域の支援連絡会などに参加し、意見交換等行っています。	コロナ禍のため、現在は行っていませんが今後、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		今年度の苦情はありませんが、引き続き苦情がないように努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月のお便りの配布、Twitter等で発信を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	○	個人ファイルについては鍵付きの場所に保管しています。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分な配慮を行い、使用の際には事前に保護者の承諾を得ていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	障がい特性に応じたコミュニケーションを行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	○		コロナ禍であり、機会はほとんどなかったですが、地域交流を含めた活動に努めていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルの開示方法については、今後検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		救急救命講習受講など、災害に対する職員のスキルアップも図っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部、内部問わず積極的に研修棟行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			引き続き、保護者との情報共有を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルの作成、ミーティングや振り返り時にも事例を基に話し合いを行っています。	